

《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

会津支援学校ではキャリア発達課題として、キャリアプランニング能力（決める力・選ぶ力）を重視しています。以下のように、小学部から経験を積み重ねながら少しずつ向上させていきます。小学部入学から高等部卒業まで一貫した意識（積み重ね）で支援を継続しています。

今回はキャリアプランニング能力の一部の（決める力・選ぶ力）を取り上げます。

- **高等部** 自分の得意不得意を知り、自己の特性に合った進路先を選択する。
- **中学部** 自分の得意不得意を知り、やりたいことを決める。
- **小学部** 自分の好きなことややりたいことを選ぶ。

☆自分を知ることで、主体的行動は生まれます。

自分の長所や得意なこと、短所や不得手なことなど、自分を知るための学習機会が必要です。

「キャリア発達の視点で児童生徒の能力を育てる」という意識で、同じ能力を段階的に積み重ねます。

<小学部音楽>

小学部では、自分の好きなことややりたいことを日常的に考えて意思表示するように授業に取り組んでいます。音楽の授業では、やりたい楽器を自分で選んでいます。「かえるの合唱」では、カバサ・ウッドブロック・スリッドドラムの中から自分やりたい楽器を一人一つずつその場で選んで演奏しました。また、友達の楽器の音色を互いに聴き合って楽しんでいます。



音楽での合奏の様子

<中学部>

中学部では、6月に第I期校内実習が行われました。6つの作業種の中から自分にできることを探し、目標や仕事の内容を決定しながら取り組みました。時には自分の不得意な課題に直面し挫折しそうになる姿も見られましたが、「分かりません。」「教えてください。」「休憩したいです。」などと自分の思いを言葉にして伝えることができました。「集中すること」「清潔にすること」「時間を守ること」など、実習で身に付けたことに自信をもち、実習後の学習に生かしています。



実習報告会の様子

<高等部>

高等部では、第I期産業現場等における実習の振り返り学習を実施しました。写真や映像などで実習の様子を振り返り、課題や目標の達成状況を確認しました。できたこと、できなかったことを学級や学部の友達と一緒に確認し合うことで、自己の特性に合った進路先を考える良い機会となりました。

今後の実習に向けて、自分に合った実習先を見付けられるように、各関係機関や家庭とも情報を共有しながら学習を進めていきたいと思ひます。



実習の振り返り学習の様子